

活動情報

No. 17 (令和4年9月21日)

TEL 0930-23-4215 FAX 0930-23-8290
E-mail keichiku-dlc@pref.fukuoka.lg.jp
園芸畜産課 花き畜産係
地域振興課 水田農業係

「子実用とうもろこし」に手ごたえあり！

家畜の飼料の主原料であるとうもろこしはほぼ輸入に頼っています。世界情勢の急激な変化により輸入とうもろこし価格は今までにないほど高騰しており、畜産経営に与える悪影響は甚大です。そこで、新たな水田転作作物として栄養価の高い子実のみを収穫する子実用とうもろこしが注目されています。

子実用とうもろこし栽培は機械投資が大きい反面、他作物と比べ労力が圧倒的に少なく、労働生産性が高いことが特徴です。このため担い手への農地集積が進む中、効率的な農地利用を可能とする作目として期待できます。

今年、管内で飼料コスト低減と資源循環型畜産経営を目指して、子実用とうもろこしの試行栽培が行われました。普及指導センターでは栽培方法の支援や、収量性、労働時間およびコスト調査を行いました。4月上旬の播種から8月中下旬の収穫までの間、生育は良好で、坪刈収量は10アール当たり1トンを超え、今後の面積拡大へ手ごたえを感じられました。一方、排水性が十分ではないほ場では、収量は大きく減少することも確認されました。

普及指導センターでは、今回調査したデータを基に、子実用とうもろこしの生産拡大に向けた課題や方向性等を整理し、地域密着で安定的な畜産経営への支援を進めていきます。



生育中のとうもろこし
6月下旬撮影



汎用型コンバインにスナツパヘッドを装着し収穫
丸内写真：収穫物

※スナツパヘッド：雌穂だけを分離収穫し、茎葉を細断・散布する機械